

# いま憲法9条が生きる時代 世界は大きく変わりつつあります

## 軍事で「解決」する時代は終わった

2003年、アメリカが始めたイラク戦争は完全に失敗しました。アメリカ一国が、わがもの顔に世界を支配しようとする「一国覇権主義」の時代が終わったこと、軍事で世界の問題を「解決」するやり方は通用しないことをハッキリ示しています。



米軍ホームページから

## 平和の共同体が大きく

世界には、いま平和の共同体が大きく広がっています。紛争の平和解決、武力行使の禁止をうたう東南アジア友好協力条約(TAC)には、ヨーロッパ連合(EU)が加入を決め、アメリカも条約に署名しました。これによりTAC加入国は52カ国、世界人口の7割近くになりました。



■=52カ国、世界人口の7割近くが参加する  
東南アジア友好協力条約(TAC)

## いつまでも軍事偏重でいいのか

世界が前向きに変化しているとき、自公政権は海外派兵、憲法を改悪して日本を「海外で戦争する国」にしようとしています。憲法9条がめざす「戦争のない世界」の理想が現実の流れとなりつつあるなか、9条を持つ日本がいつまでも軍事偏重の政治でいいのでしょうか。

日本  
共産党

9条生かし、自主・自立の平和外交

世界が大きく変わりつつあるなか、日本共産党は、憲法9条を生かし、世界とアジアの平和に貢献する日本をめざします。アメリカとの関係も安保条約・軍事同盟を廃棄して「対米従属」から抜けだし、対等・平等の日米友好条約を結びます。

衆議院選挙の  
投票方法  
制度解説

あなたには2票あります  
比例代表は「日本共産党」と政党名を

候補者名で書くと無効になります

小選挙区は候補者名で投票します

「しん赤旗」を  
お読み下さい

申し込みはお近くの  
共産党事務所へ



ZERO  
Nuclear  
Weapons

# 核兵器のない 世界へ

## 核兵器をなくすため 積極的役割を果たします

日本  
共産党



会談する志位和夫委員長とズムワルト米臨時  
大使(右)=4月28日、アメリカ大使館

広島、長崎に原爆が投下され64年。オバマ米大統領が「核兵器のない世界」を追求することを宣言するなど、人類の悲願である核廃絶へ大きな一歩が刻まれつつあります。日本共産党の志位和夫委員長は、この流れを大きくするためオバマ演説を歓迎する手紙を送り、米国政府から返書が寄せられました。日本共産党は、地球上から核兵器をなくすため積極的役割を果たします。

近畿民報

日本共産党は以上の  
見解を発表しました。

発行/日本共産党国会議員団  
近畿ブロック事務所  
2009年8月号外

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目  
15番7号USビル2F  
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115  
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

→裏面もお読みください